

## 首都圏中央連絡自動車道 松尾工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図 成田松尾線跨道橋(下部工) 図面番号39,43/43	材料表に記載の副部材、消耗部材の質量ですが、質量算出における対象主材質量に埋設型切梁の質量は含まれないのでしょうか。 対象に含まれる場合、仮設材運搬(1)の数量も変更になりますのでしょうか。	埋設型切梁の副部材、消耗部材については、設計図 成田松尾線跨道橋(下部工)図面番号39, 43/43に示す一部材当の質量には含まれません。
2	特記仕様書 P25,26	「構造物掘削 特殊部 A1、A2」の作業内容「7) 埋設型切梁の設置、切断、撤去、施工ヤードA仮置場への運搬」と記載がありますが、埋設型切梁の「撤去、施工ヤードA仮置場への運搬」は発生するのでしょうか。	特記仕様書25-3-2(1)に示すとおり、埋設型切梁の「撤去、施工ヤードA仮置場への運搬」は発生するものとお考えください。 なお、埋設型切梁の処分等については、特記仕様書25-3-2(1)に示すとおりです。
3	設計図 調整池 図面番号 21/21	「ふとんかご」における残土は、材料表に「成田南工事盛土場」と記載がありますが「成田南工事盛土場」への運搬も「ふとんかご工」にて計上と考えて宜しいでしょうか。	そのとおりお考えください。
4	設計図 土工(本線・連絡等施設)図面番号 98/111	マンホールの構造物掘削の数量訂正に伴い、たて込み簡易土留工の構造物掘削数量表に記載の「構造物掘削」数量も修正になりますのでしょうか。	たて込み簡易土留工の構造物掘削数量表に記載の「構造物掘削」数量については、設計図 土工(本線・連絡等施設)図面番号 98/111に示すとおりです。
5	設計図 土工(本線・連絡等施設)図面番号 87,88,90/111	「地下排水工」と「用・排水管」の併設箇所で掘削幅が以下のとおり異なりますが、設計図どおりで宜しいでしょうか。 ・図面番号87/111「Du-S-φ0.2-1.0-0.6」(Bd=1000)、「P(Po-B)-φ0.45(Sd-B)」(Bd=900) 256.1m ・図面番号88/111「Du-S-φ0.2-1.2-0.6」(Bd=1200)、「P(Po-B)-φ0.5(Sd-B)」(Bd=1000) 49.2m ・図面番号90/111「Du-S-φ0.2-1.2-0.6」(Bd=1200)、「P(Po-A)-1-φ0.7(Sd-B)」(Bd=1400) 7.9m ・図面番号90/111「Du-S-φ0.2-1.6-0.6」(Bd=1600)、「P(Po-A)-1-φ0.7(Sd-B)」(Bd=1400) 151.5m	設計図に示すとおりです。
6	設計図 土工(本線・連絡等施設)図面番号 88/111	「地下排水工」と「用・排水管」の併設箇所で延長が以下のとおり異なりますが、設計図どおりで宜しいでしょうか。 ・「Du-S-φ0.2-1.6-0.6」24.0m、「P(Po-A)-1-φ0.8(Sd-B)」24.5m	設計図に示すとおりです。
7	設計図 付帯工図面番号 3/6	地下排水工の「Du-P φ 0.15-0.50-0.50(A)」材料表の「フィルター材」数量「1.65m <sup>3</sup> /10m」と記載されていますが、詳細図から算出すると「2.29m <sup>3</sup> /10m」になります。どちらが正しいでしょうかご教示ください。	設計図 付帯工3/6の材料表に示す数量を正とお考えください。 なお、数量については、材料表備考欄に示すとおり、基盤排水層部を控除しています。

## 首都圏中央連絡自動車道 松尾工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
8	設計図 成田松尾線跨道橋(下部工) 図面番号32,33/43	A1、A2橋台鋼管ソイルセメント杭における「土1m <sup>3</sup> 当り固化材添加量」をご教示ください。	設計図 成田松尾線跨道橋(下部工)32、33/43の材料集計表に示すとおりです。
9	設計図 撤去工・取壊し工図面番号 1,2/18	コンクリート構造物取壊し(TypeA1)の数量「201m <sup>3</sup> 」ですが、撤去工平面図に関する数量表(1,2)を集計すると「196m <sup>3</sup> 」になると思われます。どちらが正しいでしょうかご教示ください。	差分については、設計図 撤去工・取壊し工5/18の数量をご確認ください。